企業・団体名（　損害保険ジャパン株式会社　山梨支店　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	グループ人間尊重ポリシーにおいて明記し、これに則り、職務遂行上のあらゆる面において人種、肌の色、民族、宗教、信条、国籍、本籍、出身地、社会的身分、門地、性別、性的指向、性自認、性表現、妊娠、婚姻関係、年齢、障害の有無、などを理由とした差別行為を一切行わない。 また、毎年、人権をテーマとする全社員向け研修を開催 https://www.sompo-hd.com/csr/action/employee/content4/					○			○		○							○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	研修資料・動画が用意されているとともに、毎年ハラスメントの理解促進・防止を目的とする全社員向け研修を開催 社員不適正疑義行為や職場における問題等の通報・相談を日常的に受付ける窓口も設置されており、匿名での通報も可能					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	業務使用端末のON/OFF状況で勤怠管理を実施。労働基準法、労働安全衛生法など関連法規に則り労働時間を管理 労働時間が社内基準を超過した者には必要に応じて産業医面談などを実施								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	グループ人間尊重ポリシーにおいて明記 https://www.sompo-hd.com/csr/action/employee/content4/				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	健康管理規程を定め、労働安全衛生法に則り体制を整備し、労働環境を整備し、 月一回健康の保持増進等に関する内容を審議している。 また、労働災害防止の観点から、産業医による職場環境の巡視、整備を行っている。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	健康管理規程に基づき、年１回のストレスチェックを実施し、結果に応じて産業医等による面談等も実施 専用の相談窓口を複数用意し、メンタルエルスの相談等ができる体制を構築			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	グループ人間尊重ポリシーにおいて明記 https://www.sompo-hd.com/csr/action/employee/content4/ また、ダイバーシティ＆インクルージョンを経営戦略として位置づけ、ダイバーシティ推進本部を設置。2014年経産省の「ダイバーシティ経営企業100選」、2021年経産省・東京証券取引所「なでしこ銘柄」選定等、複数の外部評価も取得している。 女性活躍推進・障害者活躍推進・共生社会実現に向けた取組・ワークスタイルイノベーション（育児や介護その他プライベートとの両立支援）・LGBT活躍支援など、多様な取組を実施					○			○		○								
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	健康経営宣言を策定し、推進体制を構築。データに基づく効果検証等を実施 https://www.sompo-japan.co.jp/company/health/ 健康経営銘柄2022（ＳＯＭＰＯホールディングス） 健康経営優良法人2022大規模法人部門（ホワイト500）認定 健康優良企業認定制度「健康優良企業 銀の認定」 スポーツエールカンパニー2022 認定			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	社員一人ひとりが自発的に学び、考え、確実に業務遂行するだけでなく、新たな価値を生み出す改善や創意工夫を自律的・継続的に行うことができる人材の育成と風土醸成を進めている。 https://www.sompo-japan.co.jp/company/diversity_dev/development/				○				○	○								

10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	障害者活躍推進や介護サービスの品質往生に向けた取組など、多様な取組を通じ、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を実施							○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物処理業者の選定におけるルール等を規定し、適切な処理・管理を実施している。 また、廃棄物の排出量、リサイクル量を把握し、社内フリーマーケット等の仕組みを導入し、廃棄物を減らすよう努めている。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	都市ガスや電力等のエネルギー資料量を毎年把握し、省エネや再生エネルギーの導入に向けて活動している。 2030年までの目標として温室効果ガス60%削減、再生可能エネルギー導入率70%を設定							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	SOMPOグループで、グループの温室効果ガス排出量ネットゼロ実現に向けて、 取組を実施中（SOMPO気候アクション） https://www.sompo-hd.com/csr/materiality/topic1/ さらに保険引受ポートフォリオに置いてもGHG排出量ネットゼロを目指している https://docisolation.prod.fire.glass/?guid=853cc093-7b1d-405e-40d2-d5b6d9a265f6							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	大阪府と茨城県に自動車研究所、自動車整備実習施設があり、 有機溶剤等の化学物質の使用・保管をしており、特殊な危険物取扱ビルとして管理している。			○			○				○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	47都道府県のNPOと地域の住民、損保ジャパンが一緒になって、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行う「SAVE　JAPANプロジェクト」を通じて、生物多様性保全に資する活動を実施 https://savejapan-pj.net/						○								○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	上下水使用量を把握し、効率的な利用に向けた管理を適切に行っている。 事業所のトイレに音姫を導入するなど、水使用量の削減に向けた取組も行っている。						○										
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	全ての拠点・事業所においてISO14001を取得済み			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	SDGsブックレット・サステナビリティレポートなどを通じて毎年公開												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	2021年度に本社ビルで使用するエネルギーを再生可能エネルギーへ切替済み 今後も順次自社ビルを中心に切替を進め、2030年度までにグループ全体の消費電力の70%以上を再生可能エネルギーに切り替えることを目指す。 https://docisolation.prod.fire.glass/?guid=237807ed-250c-4a70-0953-1e7de9d12a44							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	水資源、LPG、紙などの使用量を把握し、ペーパーレス手続きの促進やその他各種取組みを通じて資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。 また、当融資先や取引先との建設的な対話（エンゲージメント）にも積極的に取組み、バリューチェーン全体を通じた環境負荷軽減を図っている。												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	各事業所において、適切なごみの分別にもとづくリデュース、リサイクルの推進を行っているほか、社内資源のリユースについてもグループ横断で実施している。 さらに、自動車保険の支払に際して、事故車両の修理におけるリサイクル部品の活用を積極的に推奨し、環境保全とコスト削減に努めている。						○				○	○	○	○	○		
22	公正な	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	汚職等の社員不適正行為を防止するための研修開催・情報発信を継続的に行っているほか、社員不適正疑義行為の通報・相談を日常的に受付ける窓口も設置されており、匿名での通報も可能															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不正競争行為等の社員不適正行為を防止するための研修開催・情報発信を継続的に行っているほか、社員不適正疑義行為の通報・相談を日常的に受付ける窓口も設置されており、匿名での通報も可能															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	知的財産規定に則り、適切に取組んでいる。								○	○							

25	事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	SOMPOグループのプライバシーポリシーのもと「個人情報保護宣言」を掲げ、 個人情報の保護、適切な管理に取り組んでいる。 定期的な社内研修等も実施している。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	【非該当】 規制対象となる紛争鉱物の業務利用なし																○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	バリューチェーン全体を対象に、発生する可能性のある「人権の尊重に関する潜在的な影響とリスク」を特定し、リスク軽減に向けた取組を実行している。 また、当融資先や取引先との建設的な対話（エンゲージメント）にも積極的に取組み、バリューチェーン全体を通じた環境負荷軽減を図っている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	重大リスクおよびその発生可能性・影響度の評価を行い、適切に管理している。 また、販売にあたっては取扱代理店の品質認定制を複数用意し、適切な情報提供等が実現できる体制を整備している。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	継続的に実施しているお客様アンケートや、カスタマーセンターなどを通じ、お客さまの声を集約するための体制が構築できている。 さらに、お客さまの声を起点とした商品・サービスの開発・改良を行う仕組みが構築され、実際に新しいサービスの提供を開始している。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	省エネルギー型住宅の普及を促進するため、業界初の「スマートハウス向け火災保険」の販売を開始するなど、ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発を進めている。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	保険会社として万が一の事故に備えるだけでなく事故が起こらない社会づくりを目指し、運転中に直面する様々なリスクに対応するために、通信機能付きドライブレコーダーを貸与し、平常の運転から事故対応までトータルでサポートするサービス「Ｄｒｉｖｉｎｇ！」を開発する等、社会課題解決に向けた製品・サービスの開発を行っている。 このほかに、フードロス削減に寄与する費用保険やAIを活用した防災減災サービス、1965年から実施している交通事故傷害保険つきの「黄色いワッペン」贈呈など、多種多様な商品・サービスを開発・提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	金融業、保険業のもつ社会インフラとしての機能を十分に意識し、BCP策定などによる非常時の事業継続体制を適切に構築している。 また、本業と親和性の高い防災減災に資する取組や、交通事故やサイバー攻撃等の事故防止等、地域社会の発展に寄与するための情報提供や発信を継続的に行い、関連会社のサービスなども含めた多様なソリューションを提供している。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	今般の山梨SDGs認証制度においては、プラットフォーマーとして参画している等、自治体・警察との協業などをはじめ、社会貢献活動を継続的に実施している。 また、代理店組織と協力し、フードバンク山梨への寄付や福祉施設での車椅子清掃活動などを実施している。 この他、SOMPOちきゅう倶楽部など、社員のボランティア活動参加を促進する取組などがある。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	本社社員食堂において地域の名産品を取り上げる機会を定期的に設け、社食メニューや物産展を通じた消費喚起、地域資源のアピールなどを行っている。								○	○		○	○	○				
35		【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	コンプライアンス規程を定めており、定期的な社内研修開催・情報発信を継続的に行っている。 また、経営からもインテグリティ（誠実さ）の重要性をコンプライアンスの前提としてさだめ、法令を遵守するだけでなく、その背景や意図、社会通念などを踏まえた対応を行う必要がある旨を発信している。 2022年には、全ての職場で「インテグリティ宣言」を実施し、職員自らが行動指針を掲げ、日々の業務に反映させている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	経営理念を社内共有しているほか、中期経営計画の社員向け説明資料・動画など複数のコンテンツを用意し、当社が社会に提供する価値や当社の存在意義について周知を行っている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	内部監査部をそなえ、定期的かつ継続的な内部監査を行っているほか、法令順守にかかわる通報・相談を日常的に受付ける窓口も設置されており、匿名での通報も可能。 また、組織形態を指名委員会等設置会社へ移行し、経営における監督と執行の立場・役割の明確化による両機能のさらなる強化および社外取締役を中心とした取締役会による監督のガバナンス体制の強化を図っている。																○	

38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	グループサステナブル経営推進協議会、グループCSuOのもと、グループ各社のサステナビリティ専門部署等を中心に、グループの企業活動が社会・環境に及ぼす影響について継続的に確認、対応を行っている。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	法令順守、環境安全衛生、労働環境などを含む、全事業およびバリューチェーン全体を対象に発生する可能性のある「人権の尊重に関する潜在的な影響とリスク」を特定し、リスク軽減に向けた取組を実行している。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	グループＣＳＲポリシーに基づき、ＣＳＲ活動を積極的かつ継続的に実施している。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	サステナビリティレポートやSDGsブックレットなどを作成し、自社の活動を公開することを起点に、ステークホルダーとの対話や影響の確認を行っている。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	事故・災害・感染症拡大など、多様な事態を想定した事業継続計画（ＢＣＰ）を策定しており、有事には速やかに実行に移すことが可能な体制を整えている。									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	経営における監督と執行の立場・役割の明確化による両機能のさらなる強化および社外取締役を中心とした取締役会による監督のガバナンス体制の強化を図っている。加えて、役員選任方針を定めて開示している。 組織として事業承継がスムーズに行われる体制が構築されている。								○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
未来社会を変える人材集団の実現（パーパス経営）	社員一人ひとりのやりがいや幸福度の向上、および圧倒的に高い生産性向上を実現するために「働き方改革」を進めており、「MYパーパス（内発的動機・社会的使命・能力（WANT・MUST・CAN）が重なるところ）」を追求することを土台に据え、３つのコアバリュー※を共有する人材集団として、SOMPOのパーパス（安全安心健康のテーマパーク）の実現を目指している。 ※３つのコアバリュー 「ミッション・ドリブン（使命感とやりがいを感じ、当事者意識を持って働く）」 「プロフェッショナリズム（高い専門性と倫理観に基づき自律的に行動し成果につなげる）」 「ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性の重要性を理解し、それを新たな価値創造に結びつける）」				○	○			○					○				○
価値創造に向けたパートナーシップのプラットフォーム構築	各地域における自治体や行政機関等との包括連携協定や、ビッグデータ解析事業者との協業、国立研究開発法人産業技術総合研究所との協定締結などを通じて、社会課題解決や新たな価値創造に向けたパートナーシップを締結するためのプラットフォーム構築を行っている	○	○	○					○	○				○				○
事故や災害を未然に防ぎ、レジリエントな社会に貢献	AIを活用した防災・減災システムの開発や、子ども向けの防災ワークショップである「防災ジャパンダプロジェト」、ドライブレコーダーを活用した個人向け安全運転支援サービス「Driving!」などの多様なサービスやコンテンツを通じて、災害等を未然防止しレジリエントな社会の構築に向けて取組を行っている。			○	○				○			○		○				○
健康と笑顔を支えるソリューションの提供	認知症の早期発見や予防のための「SOMPO認知症サポートプログラム」や特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策などのサービスを提供する「SOMPOヘルスサポート」、健康をサポートする保険「Insurhealth（インシュアヘルス）」商品の発売などを通じ、社会の健康増進に資するサービス提供を行っている。	○		○	○	○			○		○							
経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献	生物多様性保全活動「SAVE JAPANプロジェクト」や、洋上風力発電事業者向けサービス「ONE SOMPO WINDサービス」、市民が環境問題を正しく理解・認識し、それぞれの立場で具体的な行動を実践できるように開講された「市民のための環境公開講座」等を通じ、経済・社会・環境の調和がとれた社会の実現に向けた取組を行っている。				○			○				○	○	○	○			○